

オカネツ工業株式会社 在本 倫規
岡山大学 OI-Start



オカネツ工業株式会社

住所：岡山市東区九幡1119番の1
☎：086-948-3981
✉：h-yoshioka@okanetsu.co.jp
URL：https://okanetsu.co.jp/

キーワード：
スマート農業、AI、制御

共同研究事例：

1 開発が必要な理由 (3) 市場ニーズ、従来製品の課題

オカネツ工業株式会社



共同研究の目的・背景：

今後20年間で基幹農業従事者は現在の1/4となり、労働負担を低減することが求められている。特に夏場に行われる草刈り（右図）は農作業における労働負担が高く、危険度も高い。急斜面における草刈は回転体への接触や巻き込まれによる重篤災害に発展する為、省力化となる草刈りロボットを開発が望まれている。



共同研究の成果：

農業分野だけでなく、河川堤防管理の除草作業においても生産性の向上が見込まれる。一人で複数台を運用することを想定している。小型軽量であることから大型遠隔除草機に比べ、のり面への損傷は小さく、スイッチバック方式以外の走行パターンも検討可能。

共同研究を振り返って：

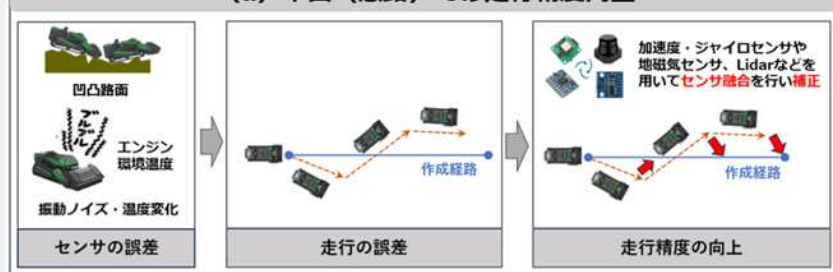
・よかったこと、難しかったこと
岡山大学OI-Start（おかやまデジタルイノベーション創出プラットフォーム）にて毎月一回の報告会を開催し進捗状況の確認を行っている。ワーキンググループには岡山大学資源植物科学研究所から山下助教も参画して下さり、カメムシや草の種別に対して知見を深めることができた。難しかったことは、草刈り機が苦手とする草種があったが、逆にこれを克服する新たなアタッチメントを開発することも出来た。

・共同研究を検討している企業に向けてひとこと
イノベーションを創出するには若い世代との交流が必要です。ありがたい姿を共に目指す仲間が集う場所を持つことに加え、それぞれの強みを持ち寄り強烈な情熱がリーダーには必要です。

4 研究開発目標と具体的取り組み

オカネツ工業株式会社

ポイント (a) 平面（悪路）での走行精度向上



今後について：

社会実装・商品化を実現するために活動提案書（ロードマップ）を作成しました。段階的に問題解決を行うことにより、ここで新たなイノベーションが生まれることもあるでしょう。農業だけでなく、林業や畜産そして建築業界への新たな共創で生まれた商品を展開したく産官学連携コーディネーターのお力をお借りしたく存じます。

主な事業内容：



技術・販路を活かして



技術・販路を活かして



自社製品開発・販売

アイスクリームブレンダー
BJ